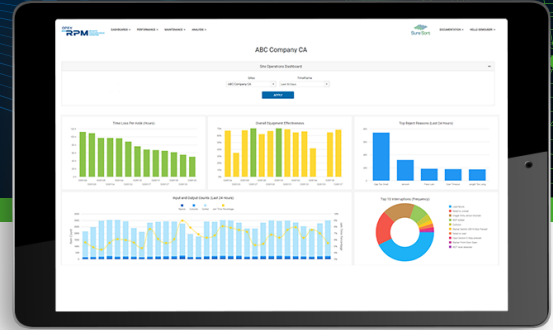


OPEX[®]

遠隔パフォーマンスモニターソフトウェアを用いて倉庫で何が重要かを評価する



遠隔パフォーマンスモニター (RPM) が選ばれる理由

RPMは、リアルタイムな装置の重要業績評価指標 (KPI) とパフォーマンスデータ履歴をOPEX[®]倉庫自動化システムからただちに入手することで、データドリブンな分析の世界を切り開くインテリジェントなレポートプラットフォームです。

クラウドベースのパフォーマンスモニタリングプラットフォームRPMは、運用データを収集、統合し、パワフルでインタラクティブに表示します。RPMを用いることで、OPEXのお客様は装置の健全度を容易にモニタリングし、装置のデータに基づくスマートで戦略的な意思決定ができます。RPMを用いてクラウドストレージの能力を最大限に活用することで、どこからでも装置の健全度をモニタリングし、パフォーマンスの向上方法を特定し、倉庫の効率性を向上します。

機能

便利なクラウドダッシュボード

RPMウェブサイトログインするだけでどこからでもデータにアクセスできる、頑強かつセキュアなクラウドベースの技術を活用。

リアルタイムデータ

すべての現場で使用されているすべての装置のステータス、パフォーマンス、問題をほぼリアルタイムで表示し、WCS/WMSとの操作用通信に干渉することなく装置とRPMを独立して同期させることができます。

アクセス管理

OPEX RPMチームに問い合わせることなく、管理者パネルから各ユーザーのアクセス設定を変更できる完全管理を提供。

パフォーマンスレポート

装置の可用性の詳細分析やiBOTアラートを含む、各システム、およびすべてのiBOT[®]ロボットのパフォーマンス履歴をレポート。

診断

予め設定された閾値を超える条件や値に対するプロアクティブなアラートやイベントをiBOT IDや障害発生の正確な場所とともに表示。

Eメールレポート自動送信

システムパフォーマンスの詳細や装置障害とスループット低下の主要因が記載されたEメールレポートを自動送信。

利点

データドリブンな意思決定

実際のデータに基づき運用上および戦略的な意思決定を下すことで、コスト削減、装置パフォーマンス向上、需要ピークに備えた優れた計画の策定を実現。

データセキュリティ

RPMへの接続を容易にするセキュアなHTTPSプロトコルを使用しています。全ての通信は、トランスポート層セキュリティ (TLS) を使って暗号化されます。装置は、SKU、装置が保有またはスキャンする製品に関連するお客様の情報を使用、アクセス、保存しません。

視認性

アクセス有効後、直ちに過去のデータとレポートを閲覧可能。装置側で追加の設定やソフトウェアの変更は不要。

重要なKPIを通知

設備総合効率 (OEE) や装置のスループットなど重要なKPIやメトリクスをオペレータ、監督者および経営部門に通知。毎日の作業を円滑かつ先を見越して実施し続けることで、作業効率を向上。

仕様

	ベーシック	スタンダード (単一の現場)	プロ (単一/複数の現場)
ダッシュボード			
クイックビューダッシュボード	◆		
現場作業ダッシュボード		◆	◆
通路とiBOTのステータス		◆	◆
ピックアップステーション、通路と現場ごとの一日のタスク達成度 (Perfect Pickのみ)		◆	◆
Sure Sortのパフォーマンスと選別不合格の理由 (Sure Sortのみ)		◆	◆
可用性ダッシュボード		◆	◆
パフォーマンス			
通路統計データ		◆	◆
通路可用性の概要		◆	◆
通路可用性の詳細			◆
保守			
ソフトウェアバージョン			◆
診断			
アラートとイベント			◆
ユーザー			
サブスクリプション可能なユーザー数	1	5	10
追加のお支払いにより利用可能なユーザー数 (5ユーザー単位)		15	35
レポート			
ベーシックパフォーマンスレポート	◆	◆	◆
拡張パフォーマンスレポート		◆	◆

RPMはOPEXサービス契約の初年度に含まれます。価格を含むソフトウェアティアオプションの詳細については、OPEX顧客担当者までお問い合わせください。

ご質問はありませんか？

お問い合わせ先：

 warehouseautomation.com

 info@opex.com

OPEX[®]